

学年・教科：小2：国語【文集作成】

単元名： あったらいいな、こんなもの

時	活動	成果・子どもたちの様子	気づいた点
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文集作成について経緯と目的を知る。</li> <li>・「あったらいいな」と思う道具を絵に書く</li> <li>・自分が考えた道具の簡単な説明をする（「どういうときに使う道具か」「その道具でできること」「その道具があったらいいなと思ったわけ」）ためのワークシート①を書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一度習った単元であるため、理解が早く、取り組みやすい様子であった。</li> <li>・どんな道具にしたいかを事前に宿題として考えて来てもらったおかげで、ワークシート①への記入がスムーズにできた生徒がほとんどだった。</li> <li>・日本語が弱い生徒の中に、事前にノートにメモをしてもってきてくれていた子がいた（保護者のご協力）。そのおかげで、ある程度書けることができている大変助かった。</li> <li>・考えてくることを忘れた子、または、考えたものと違うものを書きたいと言い出す子がいて、少し困った。</li> <li>・できあがったものを発表したいと言う子がたくさんいたため、何名かに前に出てもらって発表をしてもらった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイデアが思いつかない、書き方がわからない子のサポートをしていると、終わった子が代わりに話に入って来て盛り上がった。友達同士アイデアを出し合うことで、さらにアイデアが沸いている様子だったので、どんどん話をするように指導した。</li> <li>・発表をした子に対して聞いていた子から質問を出してもらい、そういった質問の出し合いを次の時間にしてもらうことの説明につながった。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれが書いた絵を見合わせながら、質問をし合い、メモ欄に記入する。</li> <li>・質問をしあって詳しく考えたことを、ワークシート②にまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お互いに話しやすい子がペアになるような席の配置にし、また、日本語に不自由なく率力がある子と、日本語が弱い子とをペアにすることによって、その子が楽しそうにサポートをしている様子が伺えた。</li> <li>・ワークシート②への書き込み時、①の並びが②と合っていないため悩む子が多かった。</li> <li>・計3名が終わることができなかつたので宿題とした。</li> <li>・次週シート②を切り取り切りその並び替えをして文章構成を考えることの説明をすると、「楽しそう！」という声が出て、わくわく感が大変あったように思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スラスラ書ける子とそうでない子がはっきりわかれた。道具のしくみはどんなだったかな？など、一度説明をしてあげることで書ける子が増えたが、すでに同じことを書いていたりして、消すことが多かつた。</li> <li>・終わらなかつた子は保護者に連絡し、家庭で仕上げさせてもらうようお願いをした。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートに書いたものを、構成を考えて文章にする。</li> <li>・シート②を切り取り、どういう順に書くと読み手に自分の考えが伝わるか考えながら、並び替えの作業を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はさみを使う楽しさがあつた様子。</li> <li>・並び替えがわかりやすいように、台紙として色の紙を用意したところ、子供達のワクワク感がさらに高まつたようだった。</li> <li>・正しい並び替えの順番がひとつではないことがわかり、その子の書く文章によって違うことに私自身も気づくことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先に貼ってしまつてから間違いが分かつては剥がすのが大変なので、台紙の上に並べて置くだけにしてもらつた。</li> <li>・あまりにも違つた並び替えをしている子には、道具の説明文はまとめてした方が読み手がわかりやすいことなどを説明しながら指導をした。</li> </ul>

			・OKが出た子から貼ってもらい、貼り終えたものをも う一度各自読み直してから私のところにもってきて、 一緒に読み直し、その時に必要な添削や言葉足らずな どを書き足して指導をした。
4	作文を書く ・シートの順番に沿って、作文に 仕上げ、添削する。	・できたシートを見ながら作文に仕上げるのを宿題とした。 ・シートのとおり順番に書いたところ、きちんと最終行まで詰められていて、とても嬉し く感じた。	・期限が1月末のため、冬休みに入る前に作文として 一度仕上げておきたかったのと、休みが4名もいるた め、持ち帰って書いてきてもらうことにした。(欠席者 が4名もいるため)
5	添削したものを作文としてもう 一度仕上げ、それを清書する。		

#### 伸ばせた力、子どもの変化、保護者の反応など

- ・子供達のわくわく感を感じられ、作文への嫌悪感を少し和らげることができたような気がする。また、「やりたい」という気持ちを引き出せたように思う。
- ・シート②のようなものがあると作文にとりかかりやすいので助かるという声が保護者よりあがった。
- ・子供達同士で作文の題材を考え合っているところに前向きさを感じられた。
- ・事前に宿題として出すことで、保護者からも協力を得ることができてよかった。

#### 所感

- ・作文を書くための要素や構成などを考えるために、人と一緒に考えることの楽しさが必要であることを実感できた。
- ・全員がそれぞれ違った文章を書くため、一人ひとりの指導が必要になるので、全体としての大まかな指導では追い付かなかった。
- ・普段の作文作成時には使わない、はさみでの切り取りや並べ替え作業を使ったことで、ワクワク感が増したような気がする。
- ・ワークシートを作ることで、作文への書きやすさにつなげることができるため、今後、宿題の作文を書く時にも利用できるようなシートを作っておきたいと思う。